

第4回伊勢市施設類型別計画検討委員会 会議録

1. 日時 平成28年12月12日(月) 午後7時～午後9時30分

2. 場所 伊勢市役所 本庁舎 本館2階 第2-1会議室

3. 出席者

(1) 委員出席者

筒井委員、上井委員、河村委員、杉山委員、大西委員

(2) 市出席者

情報戦略局長、情報調査室長、同室係長、同室主事2名

4. 議題

(1) 施設類型別計画(素案)について

(2) 公共施設評価シート及びインフラ資産整備優先度判定シートの修正について

(3) 公共施設に関する市民アンケート調査の結果について

5. 会議録(要旨)

作業部会での協議を一旦取りまとめたものを報告し、それに対する意見をいただいた。

(1) 施設類型別計画(素案)について

- ・市民意識について、それ以降の章でどのように反映されているのか。
⇒具体的にはしていないが、現状を知ることができ、施設全体を精査する背景として利用した。今回は利用者アンケートではなく、市民全般へのアンケートとなるので計画の裏づけとなる。計画への記載は2ページ程度であるが、実際はクロス集計をしながら、よく利用する人、していない人で回答に偏りが見られないかなど確認している。
- ・市民アンケート結果を踏まえて各施設の方向性を出したことを第3章にも付け加えてみてはどうか。
⇒アンケートの結果を踏まえという文面を工夫して加えさせてもらう。
- ・個別計画について、施設類型別計画に連なるものとあるが、次年度以降に個別計画を策定するということか。
⇒個別計画というのは、既にあるものと今後策定を予定しているものを記載している。連なるとは、施設類型別計画と個別の計画がバラバラな方向に進まないよう相互に作用させるため、どちらかを見直せばどちらかも見直す必要があることからこのように表現した。
- ・各作業部会における現状の課題と方向性について、各課意見や要望などの作業部会の経過を記載してあるが、本来計画書には載せない部分。どれが結果にあたるのか迷ってしまうため、経過については概略を載せるか資料編に参考資料として掲載した方がよい。

⇒結論だけ記載するのではなく、作業部会の話し合いの中でどういった経緯でこの方向性に至ったのかという部分を載せたかった。計画策定に向け、おこなったことを順番に載せている。

- ・インフラ資産については、無くすわけにはいけないし、新規整備抑制や長寿命化を図るしかない。

⇒インフラ資産は優先度を図った上で新規抑制、長寿命化を実施しながら、財政状況を見て整備していきたい。

(2) 公共施設評価シート及びインフラ資産整備優先度判定シートの修正について

- ・特に意見なし

(3) 公共施設に関する市民アンケート調査の結果について

- ・特に意見なし